

**令和 8(2026)年度
日本体育大学大学院 教育学研究科 博士前期課程
公募制推薦入試 学生募集要項**

目 次

I. 教育学研究科が定める 3 つの方針	2
II. 教育学研究科博士前期課程の概要	3
III. 受験要領	
1. 専攻及び募集人員	4
2. 出願資格	4
3. 出願要件	4
4. 試験日程等	5
5. 出願書類	5
6. 出願手続	6
7. 受験票について	7
8. 障がい等のある入学志願者の事前相談について	7
9. 入試要領	7
10. 口述試験要領	7
11. 合格発表	9
12. 入学手続	9
13. 学 費	10
IV. 2026 年度 研究指導担当教員及び研究指導領域	11
2026 年度 教育学研究科 博士前期課程 研究指導担当教員連絡先	12
《出願写真に関する注意事項》	巻末

《各種様式、所定用紙》 (別添)

「推薦書(様式)」「履歴書(所定用紙 1)」「志望理由書(所定用紙 2)」「志願者情報登録カード(所定用紙 3)」「口述試験実施希望日調査書(所定用紙 4)」「承諾書(所定用紙 5)」「在職証明書(所定用紙 6)」、
「入学試験に係る事前相談について(所定用紙)」「受験票・志願票(A4 用紙から切り取り)」、
「振込依頼書(A4 用紙から切り取り)」「オンライン試験同意書(所定用紙 A)」「宛名シート(出願時の書類送付用)」

I. 教育学研究科が定める3つの方針

【博士前期課程】

◎ 入学者受入方針（アドミSSION・ポリシー）

博士前期課程では、小学校教諭専修免許状の取得を目指して、各教科に「授業実践」を積極的に展開していく。また、この実践を通じて見いだされた新たな課題を解決し、絶えず授業の改善に努めようとする自立的実践研究力を育成する。

教育現場、とりわけ小学校における教科（国語、社会、算数、理科、体育）の学習指導について、その専門性を備え、あわせて実践的な研究に意欲をもって臨める人材を受入れる。また、本研究科（博士前期課程）において、実践的指導力を更に高め、社会の急速な進展の中、教員としての探究力を有し、知識や技能の刷新のために常に「学び続ける教師」や理論的裏付けに基づく「実践的な教育力」を備えた資質の高い指導者を目指す者を求める。

◎ 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

教科の共通性や固有性をもとに、自己の実践を絶えず改善していく研究方法やその「すべ」を獲得できるようにするため、教育活動の具体的な場である各教科の授業実践を行い、その実践から課題を見だし、その課題を解決していくという、絶えることなく授業改善を行う能力の育成ため、以下のようなカリキュラムを編成した。各教科共通の基底となる教科基盤科目、教科の共通性をもとにした必須教科共通科目、教科の固有性をもとにした教科選択科目の3種に大別し、編成した。

1. 教科基盤科目では、教科の成立基盤や教科区分、教科の本質、人間性の育成などから、各教科の本質にもとづく、学習指導の構成について理論と実践の両側面で深く学ぶ。
2. 教科の共通性をもとにした必須教科共通科目では、各教科において学習指導レベルで目標や学習指導、評価に関する優れた実践について深く学ぶ。
3. 教科の固有性をもとにした教科選択科目では、自分が選択する教科において学習指導レベルで目標や学習指導、評価に関する構成方法について深く学ぶ。

◎ 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

所定の単位を修め、次に述べる能力を備えた学生に修了を認定して学位を授与する。

これからの教師は、学び続ける教師と学校現場のニーズに応え得る実践性を備えた教員養成が必要となる。このため、小学校専修免許状とともに、授業実践を行い、その実践から課題を見だし、その課題を解決し、絶えず授業改善を行うという自立的実践研究力を有することを目的とした。具体的には、以下の3点に整理できる能力を有することを修了要件とする。

1. 各教科の授業実践を通して自己の実践を絶えず改善していく研究方法を獲得することによって学び続ける能力を有していること。
2. 各教科の授業実践を通して自己の実践を絶えず改善していく「すべ」を獲得することによって絶えず授業改善を行う能力を有していること。
3. 各学校や JICA など活躍できる能力を有していること。

Ⅱ．教育学研究科博士前期課程の概要

日本体育大学大学院教育学研究科博士課程は前期課程（修士課程）2年と後期課程（博士課程）3年に区分され、実践教科教育学の1専攻をもって構成されています。

1．目 的

博士前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的としています。

2．専攻の構成

実践教科教育学専攻は次の5種で構成されています。

- （1）国語科教育
- （2）社会科教育
- （3）算数科教育
- （4）理科教育
- （5）体育科教育

3．課程修了の要件・学位

本研究科に2年以上在学し、合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出してその審査及び最終試験に合格した者には「修士（教育学）」の学位が授与されます。

4．取得可能な免許状

小学校教諭一種免許状を有している者が、必要単位を修得し博士前期課程を修了した場合は、「小学校教諭専修免許状」が取得可能です。

Ⅲ. 受験要領

1. 専攻及び募集人員

専 攻	募集人員
実践教科教育学	若干名 【国語科教育・社会科教育・算数科教育・理科教育・体育科教育】

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者又は令和 8(2026)年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者又は令和 8(2026)年 3 月 31 日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 8(2026)年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 8(2026)年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和 8(2026)年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和 8(2026)年 3 月 31 日までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）を文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和 8(2026)年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）

3. 出願要件

「2. 出願資格」(1) から (8) のいずれかに該当し、次の (1) から (3) 全ての条件に満たしている者。

- (1) 本研究科における教育研究を希望する者
- (2) 事前相談を済ませ、研究指導を希望する教員から推薦を得られた者
- (3) 合格した場合、本研究科へ確実に入学の意思がある者

4. 試験日程等

公募制推薦入試	日程
出願期間 (出願書類受付期間)	2025年8月18日(月)～ 2025年8月22日(金)
口述試験日の案内 (受付時間・URL 配信)	2025年8月25日(月)～
書類審査・口述試験(オンライン)	2025年9月1日(月)～ 2025年9月7日(日)
合格発表日	2025年9月12日(金)
入学手続締切日	2025年9月30日(火)

5. 出願書類

出願書類のうち所定用紙となっているものは、別添《各種様式・所定用紙》から印刷して作成してください。

出願書類	連絡・注意事項
(1) 受験票・志願票(所定用紙)	① 志望分野(教科名)は、3頁「2. 専攻の構成」の5種より選択してください。 ② 氏名は戸籍上の氏名を記入してください。 ③ 写真は、「出願写真に関する注意事項」を参照の上、規定に添ったものを提出してください。
(2) オンライン試験同意書 (所定用紙A)	口述試験をオンライン形式で実施します。内容を確認し、 ☒ 及び署名・捺印をしてください。
(3) 履歴書(所定用紙1)	「学歴」欄は高等学校卒業から記入してください。但し、外国の学校教育を受けたことがある者は小学校から記入してください。大学、研究所等で研究生等研究歴がある場合は、その期間も記入してください。 「職歴」欄は勤務していた全ての職を年月順に記入してください。社会貢献活動の経験はこの欄に記入してください。 記入欄が不足した場合は、同一様式の別紙に記入し添付してください。
(4) 志望理由書(所定用紙2)	研究指導を希望する教員と履修・研究等について必ず事前の相談を済ませてください。
(5) 志願者情報登録カード (所定用紙3)	必要事項を確認して記入してください。
(6) 口述試験実施希望日調査書 (所定用紙4)	予め研究指導教員と希望する日時を調整したうえで実施希望日を記載してください。
(7) 学業成績証明書	出身大学長が作成し、厳封したもの

(8) 卒業（見込）証明書	出身大学長が作成したもの
(9) 承諾書（所定用紙5）	入学後に在職予定の者は、雇用責任者または代表者の承諾書を提出してください。
(10) 在職証明書または派遣証明書 （所定用紙6） ※所定用紙と同内容であれば、所属機関が発行したものでも可。	出願要件を満たすことを証明できる在職証明書または派遣証明書を提出ください。複数の職歴で出願要件を満たす場合は、該当する職歴の証明書を全て提出してください。
(11) 研究計画書	A4版の用紙（横書き）で、パソコン等により和文2,000字以内で作成し、片面印刷してください。 以下の内容が明記されていること。 ① 研究題目 ② 研究の背景及び目的 ③ 方法
(12) 推薦書（様式）	研究指導担当予定教員からの推薦書

6. 出願手続

(1) 推薦書の取得

希望する研究指導教員へ事前に相談してください。出願時に推薦書が必要となります。

(2) 入学検定料の支払い

入学検定料 35,000円 納入期間：8月18日（月）から出願する入試の出願締切日

- ① 別添《各種様式・所定用紙等》にある振込用紙（外枠）を切り取り、必要事項を記入し、金融機関窓口で振込手続きをしてください。
- ② インターネットバンキングやATMでも納入可能とします。この場合、振込手数料はご本人負担でお願いいたします。 ※振込の控えは必ず保管しておいてください。

◎注意事項

- ① 不備のある出願書類や出願締切日後に到着した出願書類は一切受け付けません。
- ② 一度提出した出願書類及び振込まれた入学検定料は一切返還しません。
- ③ 提出書類の内容に虚偽があった場合は、出願や合格を取り消すことがあります。
- ④ 身体機能に障がいがあり、受験及び修学上、特別な配慮を必要とする志願者は、事前に大学院教学センターまでお問い合わせください。

(3) 出願書類の提出

「5. 出願書類」を確認して、別添《各種様式・所定用紙》の中から必要書類を印刷し作成してください。
《宛名シート》を印刷して必要事項を記入のうえ、角2封筒に貼付し提出書類を封入して「速達・特定記録郵便」で郵送してください。

提出期間：2025年8月18日(月) ～ 8月22日(金)

提出先：日本体育大学 大学院教学センター

〒158-8508 東京都世田谷区深沢 7-1-1 TEL03-5706-0915

- ① 郵送の場合：期間内大学必着

「特定記録郵便等受領証」を保管しておいてください。

- ② 窓口提出の場合：最終日は12:00 締切り

7. 受験票について

受験票は出願締切日後に、受験番号を付記し返送します。

2025年8月28日（木）迄に届いていない場合には、必ず大学院教学センターに連絡をしてください。

8. 障がい等のある入学志願者の事前相談について

本学に入学を志願する方で、けが及び障がい等により受験上の配慮を必要とする方は、出願の前に、必ず事前相談をしてください。

出願の際には下記に記載した書類が必要となりますので、予めご了承ください。

なお、重度の障がいのある方は、できる限り早い時期にご相談ください。

《事前相談の方法》

事前相談の申請は、「申請書類」の「入学試験に係る事前相談について」を作成の上、医師の診断書などの必要な書類を添付して提出してください。

※ 提供いただいた個人情報は、支援内容検討のために関係部署と共有します。

なお、必要な書類に不明な点がある場合は、提出前に大学院教学センターに確認してください。

申請書類

- (1) 「入学試験に係る事前相談について」（所定用紙）
- (2) 医師の診断書（原本又は写し）
- (3) 障害者手帳（氏名・障がい名の頁の写し）（所持者）
- (4) その他相談する際に必要と考えられる参考資料

9. 入試要領

試験形式	実施要領
書類審査	出願書類に基づいて内容を審査する。 1 履歴書 2 志望理由書 3 研究計画書 4 推薦書
口述試験	オンライン形式で実施する。 出願書類に基づき、志望理由や入学後の研究計画について日本語で問う。

10. 口述試験要領

口述試験は、オンラインで実施します。以下のことを確認の上、受験してください。

(1) 事前準備（機器・環境等）について

下記の要件を満たす必要があります。試験実施時まで各自準備してください。

なお、接続に伴う通信料の負担や機器類の貸出し等は行っておりませんので予めご了承ください。

【機器類】

- ・ コンピュータ（PC）デスクトップまたはノートパソコン
- ・ イヤホンまたはヘッドホン
- ・ マイク（PC 内蔵または外部のマイク）
- ・ カメラ（PC 内蔵または外部の Web カメラ）

※ 使用機器はコンピュータ（PC）を推奨しますが、下記【アプリダウンロード】及びダウンロード後の使用に問題が無い場合のみ、タブレットやスマートフォンの使用を認めます。
但しそれらを使用する場合、電話の着信や通知等で試験が中断される可能性があるため、使用にあたっては試験に影響が無いように十分に注意してください。

【環境】

- ・ 周囲に騒音等がなく、受験者本人以外の人が在室していない環境。
- ・ オンライン試験に耐えうる接続状態が良好で安定したネットワーク接続が確保された環境。
（Wi-Fi 使用時における推奨帯域幅：600kbps/1.2Mbps（上り/下り））

※ 漫画喫茶などプライバシーに欠ける場所での受験はしないでください。

【アプリダウンロード】

- ・ 試験当日に使用する PC 等に ZOOM 公式ホームページ（<https://zoom.us/download>）より、「ミーティング用 ZOOM クライアント」をダウンロードしてください。
- ・ ダウンロード後、面接試験実施日までに、各自で音声・マイク・映像等に問題ないか確認しておいてください。

参考：ZOOM ミーティングテスト（<http://zoom.us/test>）

【その他用意する物】

- ・ スマートフォン、または携帯電話 ※試験中はマナーモードにしてください。

事前に申告した番号のスマートフォン、または携帯電話を受験時に手元に用意しておいてください。万一、回線等による音声通信に支障をきたした場合は、スマートフォン、または携帯電話を利用して試験を続行します。

（2）試験日の案内及び受験用 URL の送信について

出願時に提出された「口述試験実施希望日調査書」の希望日時に基づき、試験の実施日時を決定しメール及び電話にて連絡します。「受験用 URL」を送信しますので、ドメイン指定受信をしている場合は、（@nittai.ac.jp）が受信できるように予め設定しておいてください。

口述試験の詳細は出願時に申告された E-mail アドレス宛に通知しますので、必ず確認してください。

試験当日は、大学院教学センターから送信された案内に従って受験してください。

（3）試験当日の手順・注意事項

- ① 受験者は事前に送られた口述試験の案内にある受付時刻になりましたら「受験用 URL」に接続をしてください。
- ② 必ず指定された時刻内に接続してください。
- ③ ZOOM に接続後は、必ず表示名をご自身の受験番号に変更してください。
※この時点から試験が終了するまでその場を離れる事はできません。
 - ・ マイクがミュートになっている場合は「ミュート解除」にしてください。
 - ・ モニターに受験者の画像が映らない場合はビデオがオフになっていますので「ビデオ開始」にしてください。
 - ・ 受験票を確認します。カメラに確認できるようにかざしてください。
 - ・ 氏名を確認します。
 - ・ 受験時間になりましたら、担当者が受験番号を呼びますので、担当者に返事をしてください。
- ④ 受験者を担当者が試験室へ移動させます。
 - ・ 試験室に移動できた事を確認した後に試験開始となります。
 - ・ 試験担当者からの指示に従ってください。
- ⑤ 試験が終了した後はそのまま退室してください。こちらで強制的に退室させる場合もあります。

【注意事項】

- ・ 必ず受験者本人が参加してください。
- ・ 担当者の指示に従わずに勝手な行動や、行為をおこなった場合は試験不成立とみなし、試験を欠席した扱いとさせていただきます。
- ・ 受験中に回線等による影響での不具合や試験が続行できない場合は担当者の指示に従ってください。

1 1. 合格発表

2025 年 9 月 12 日（金）10 時

合格発表は合格者のみ通知します。学内掲示は行いません。本学の正式な合格発表は、合格発表日に合格証明書等の発送をもって行いますが、受験生の便宜を考慮し、「合否照会システム（インターネット）」による合否案内を行います。

なお、不合格通知書は送付いたしません。また、本学に直接連絡をしても合否に関わるお問い合わせは一切受けませんので、下記照会方法を確認してください。

(1) 利用方法・注意点

- ① インターネット、スマートフォン及び携帯電話で利用できます。
- ② 合否照会について、「誤操作」及び「見間違い」を理由とした、入学手続期間終了後の入学手続は認めません。
- ③ 合否発表当日は混雑のため回線がつながりにくいことがあります。その場合は、少し時間をおいてアクセスしてください。
- ④ 合否照会の利用期間は次のとおりです。

合否照会システム利用期間	
2025 年 9 月 12 日(金) ～ 2025 年 9 月 30 日(火)	初日 10：00 ～ 最終日 23：59 まで

(2) インターネット（携帯・パソコン）での照会

<https://www.gouhi.com/nittai/>



合否照会システム利用期間内に上記アドレスへアクセスし、画面の指示に従って操作してください。また、本学ホームページ(<https://www.nittai.ac.jp/>)からも、上記アドレスへアクセスできます。

1 2. 入学手続

(1) 入学手続時納入金の手続締切日 2025 年 9 月 30 日（火）

- ① 入学手続時納入金は、合格証明書に同封されている所定の「振込用紙」を使用し、手続締切日までに金融機関窓口で手続を行ってください。
- ② 合格者で手続締切日までに入学手続時納入金が未納だった場合は、入学辞退とみなしますので注意してください。
- ③ 振込金受取書（本人保存）は、入学手続をした証明になりますので大切に保管してください。

(2) 入学辞退について

【窓口】 2026 年 3 月 31 日（火） 17：00 まで

【郵送】 2026 年 3 月 31 日（火） 消印有効（速達・簡易書留としてください。）

入学手続時納入金を振込み後、入学を辞退する場合は、上記期限までに入学辞退届（所定用紙）を提出してください。入学金を除く納入金を返還します。なお、返還には期間を要しますので、早急に手続きをしてください。

入学辞退届提出先：日本体育大学 大学院教学センター

〒158-8508 東京都世田谷区深沢 7-1-1

TEL 03-5706-0915

事務取扱時間：平日 8:30～17:00

冬季一斉休業期間：2025 年 12 月 27 日（土）～ 2026 年 1 月 5 日（月）

13. 学 費

授業料は全額の 1/2 相当額を後学期に分納することができます。その場合、入学手続時の納入金額は、入学金・授業料（前学期分納分）・健康管理費・学友会費・同窓会準会員費の合計金額となります。後学期は授業料（後学期分納分）のみとなります。

2026 年度 日本体育大学大学院教育学研究科 博士前期課程学費等一覧 (円)

費 目		納入期		金 額	
				日本体育大学以外の卒業生	日本体育大学卒業生
①学 費	入学金	入学時のみ		300,000	150,000
	授業料	分納可	前学期	400,000	400,000
			後学期	400,000	400,000
	健康管理費	前学期		10,000	10,000
②その他 費用	学友会費	前学期		13,000 (入会金 1,000 円を含む)	12,000
	同窓会 準会員費	入学時のみ		10,000	0
総合計 (①+②)		年 額		1,133,000	972,000
		分納の場合	前学期	733,000	572,000
			後学期	400,000	400,000

※1 教育学研究科在学生で現職の小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭の方は、授業料のうち 100,000 円が免除されます。上記授業料免除の申請方法については、入学後のオリエンテーションにて案内します。

※2 博士前期課程は、厚生労働省の「教育訓練給付制度（一般教育訓練）」給付金対象講座です。

※3 日本学生支援機構貸与奨学金「授業料後払い制度」があります。制度の利用を希望する方は、事前に大学院教学センターまでお問い合わせください。

《寄付金について》

本学では、教育研究環境充実のため、寄付金を募集する場合があります。

但し、いずれも応募は任意で、入学前には募集いたしません。

●「国の教育ローン」（教育貸し付け）について

「国の教育ローン」は、「家庭の経済的負担の軽減」、「教育の機会均等」という目的のために昭和 54 年に創設された公的な融資制度です。民間金融機関の補完を旨とする政策金融機関である日本政策金融公庫（日本公庫）が扱っています。

詳しくは教育ローンコールセンター 0570-008656（03-5321-8656）、または「国の教育ローン」で検索、<https://www.jfc.go.jp/>から「国の教育ローン」を選択してください。

IV. 2026 年度 研究指導担当教員及び研究指導領域

【博士前期課程】

(研究指導担当教員の表記内容)	
★★ 博士前期課程 研究指導教員	研究指導を担当することができる
★ 博士前期課程 研究指導補助教員	研究指導教員とともに研究指導ができる

【注意事項】

出願前に必ずご自身の希望する研究指導教員、または研究指導補助教員と連絡を取り、担当教員とご自身の考えている研究内容を十分にご相談して下さい。事前の連絡を取らずに出願することがないようにして下さい。

教員検索 (大学 HP 教育情報データベース)		研究者検索 (国立研究開発法人科学技術振興機構)	
----------------------------	---	-----------------------------	---

(50 音順)

★★ 教科：理科教育 教授 稲田 結美 博士（教育学）	研究内容のキーワード：教材開発 カリキュラム研究 教師教育 女子教育
	(1) 理科の教授・学習論 ① 理科に対する学習者の情意面に関する研究 ② 学習者の特性に応じた理科指導に関する研究 ③ 理科の教材開発に関する研究 (2) 理科の教科課程論 ① 理科の学習内容の選択および配列に関する研究 ② 理科の教科課程に関する国際比較研究
★★ 教科：体育科教育 教授 近藤 智靖 博士（体育科学）	研究内容のキーワード：体育科教育学、スポーツ教育学
	(1) 体育科のカリキュラム論 ① 体育の教育課程における目標に関する研究 (2) 体育科の学習指導論 ① 体育の教材に関する研究 ② 教師行動に関する研究 (3) 体育授業研究 ① 体育における学習成果に関する研究 ② 児童生徒行動に関する研究
★★ 教科：体育科教育 教授 白旗 和也 博士（スポーツ健康科学）	研究内容のキーワード：体育科教育学、教師教育、幼児期・児童期の発達発達
	(1) 体育科の指導に関する研究 ① 学習指導要領に基づく、カリキュラム作りに関する研究 ② 体育の教材づくりに関する研究 ③ 学習カード、ICT 活用などの評価の研究 (2) 教師教育に関する研究 ① 教師の効力感向上に向けた支援方法の研究 ② 教師行動に関する研究 (3) 発達発達に関する研究 ① 幼児期の動きづくりに関する研究 ② 児童の動きの獲得・体力の変化に関する研究

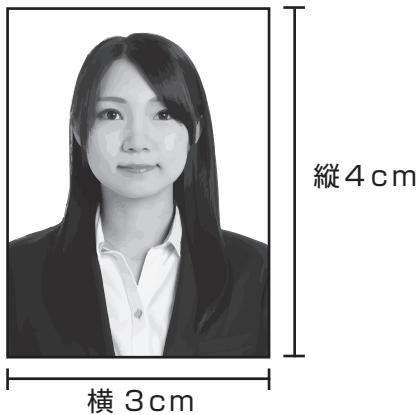
★★ 教科：国語科教育 教授 杉本 直美 博士（教育学）	研究内容のキーワード：読書指導、作文指導、学力調査
	(1) 国語科学習指導論 ① 読書生活を視野に入れた読書指導に関する研究 ② 記述過程を中心とした作文指導に関する研究 (2) 国語科学習評価論 ① 学力調査を活用した評価（特に記述における評価）に関する研究 ② 学習指導要領を踏まえた学習評価に関する研究
★★ 教科：体育科教育 准教授 鈴木 康介 博士（スポーツ科学）	研究内容のキーワード：体育科教育学、スポーツ教育学、教材開発、運動指導
	(1) 体育科の学習指導法 ① 体育の授業づくり、教材づくり、教材構成に関する研究 ② 体育における運動指導に関する研究 ③ 学校における教科横断的な学びに関する研究 (2) 幼少期における運動指導に関する研究 ① 幼少期の子どもの動きに関する研究 ② 教育課程内・課程外における子ども（幼児・児童・生徒）の運動指導に関する研究
★★ 教科：社会科教育 教授 田口 紘子 博士（教育学）	研究内容のキーワード：社会科教育学、教科教育学
	(1) 社会科教育の原理研究 ① 社会科教育の理論的基盤 ② 小学校社会科の目標と構成 (2) 初等社会科教育指導の研究 ① 社会科学習指導の原理 ② 社会科授業研究 ③ 社会科教育における評価
★★ 教科：算数科教育 助教 村田 翔吾 博士（教育学）	研究内容のキーワード：算数科・数学科教育学、数学的活動
	(1) 算数科・数学科教育内容論 ① 算数科・数学科の目標・内容の構成原理に関する研究 ② 算数科・数学科における教育課程文書・教科書の比較研究 (2) 算数科・数学科教育方法論 ① 算数科・数学科における教材開発（課題設計）に関する研究 ② 算数科・数学科における探究活動の促進に関する研究

【2026 年度 教育学研究科 博士前期課程 研究指導担当教員連絡先】

氏名	フリガナ	担当教科	東京・世田谷キャンパス 電話番号	メールアドレス
稲田 結美	イナダ ユミ	理科教育	03-5706-1317	inada@nittai.ac.jp
近藤 智靖	コンドウトモヤス	体育科教育	03-5706-1337	kondohtomoyasu@nittai.ac.jp
白旗 和也	シラハタ カズヤ	体育科教育	03-5706-1495	shirahata@nittai.ac.jp
杉本 直美	スギモト ナミ	国語科教育	03-5706-1589	sugimoto.n@nittai.ac.jp
鈴木 康介	スズキ コウスケ	体育科教育	03-5706-0960	suzuki-kosuke@nittai.ac.jp
田口 紘子	タグチ ヒロコ	社会科教育	03-5706-0924	h-taguchi@nittai.ac.jp
村田 翔吾	ムラタ ショウゴ	算数科教育	03-5706-1493	smurata@nittai.ac.jp

《出願写真に関する注意事項》

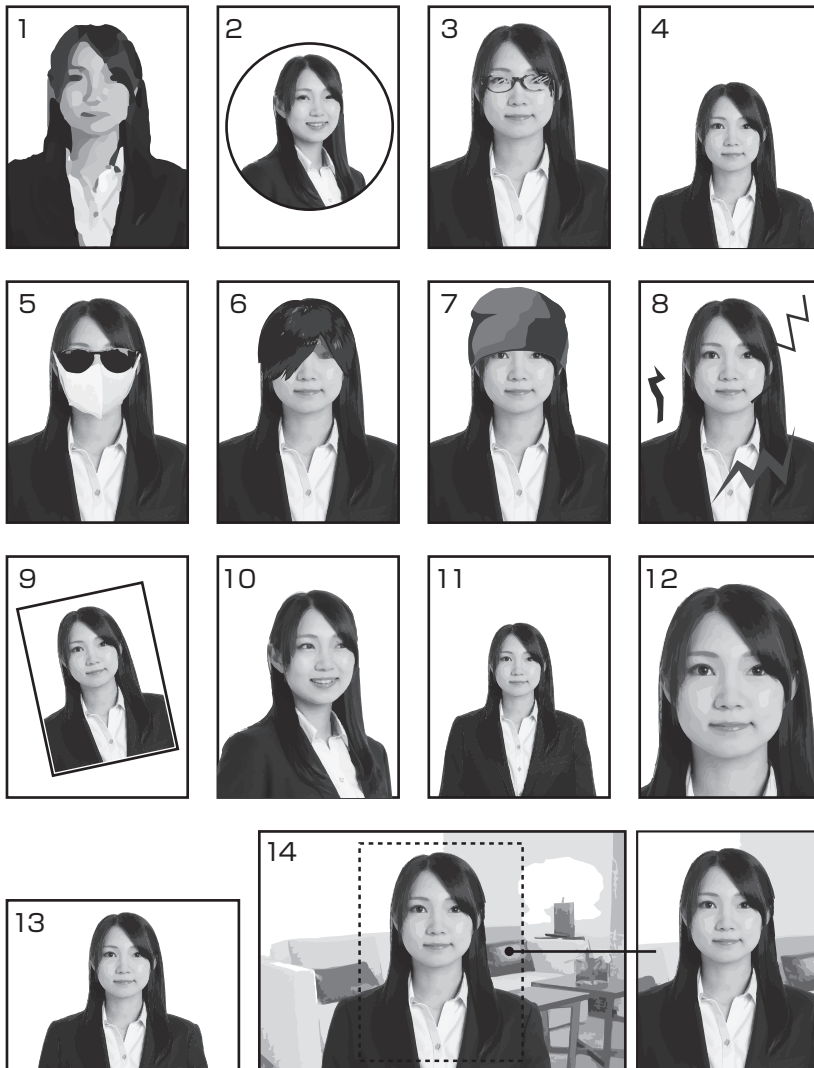
適切な写真例



■ 写真の規定

- 写真サイズは縦 4 cm × 横 3 cm
- カラー写真、白黒写真いずれも可とします
- 出願前 3 ヶ月以内に撮影したもの
- 背景は無地(白・青・グレー)に限ります
- 正面を向いた本人の顔がはっきり確認できるもの
- 上半身で脱帽、頭部全体が写っている
- 所定用紙(受験票・写真表・志願表)に貼付する写真は、全て同一の写真を貼付してください

下記項目に該当する場合は受付できませんのでご注意ください。



■ 受付できない写真例

- 1, 被写体が不鮮明(画像が荒い)
 - 2, スナップ写真・SNS・ブログ等から流用した写真
 - 3, 眼鏡のレンズに光が反射している
 - 4, 頭上の余白部分が多い
 - 5, サングラスやマスクをしている
 - 6, 前髪や前髪の影で目を隠し、顔が確認できない
 - 7, ヘアバンドや帽子で頭髪を覆っている
 - 8, 変色していたり、キズや汚れがある
 - 9, 証明写真を再撮影したもの
 - 10, 被写体が正面を向いていない
 - 11, 被写体が小さい
 - 12, 被写体が大きすぎて写真からはみ出している
 - 13, 写真サイズが横に長い
 - 14, 背景に家具等が写っている
- ※ 該当する場合は必ず撮り直してください。